



第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

会長 相澤 隆
幹事 佐藤 卓立

クラブ奉仕委員会
委員長

会報・雑誌・広報・
IT小委員会委員長

黒澤 信之
大平 謹一郎

令和2年6月15日(月) 第29回 通算第1563回例会

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第29回例会 点鐘12:30

◇開会点鐘 相澤 隆会長

◇国歌斉唱、ロータリーソング「それでこそロータリー」

◇お客様並びにビジター紹介

福島RC 阿久津 肇ハトがヶ-

◇会長あいさつ 相澤 隆会長

今年度の例会も残すところ本日、そして来週の2回となりました。地区・分区関係ではすでに来年度に向けたセミナー等も次々と始まっておりまして、今日の日曜日には地区の「会員増強・拡大・ロータリー情報委員会セミナー」が郡山市で開催される予定となっております。

また、本日の例会終了後には県北保健福祉事務所におきまして、麻薬撲滅の基金贈呈を行う予定となっております。例年、分区の年間行事の一環として当クラブがホストを務め「麻薬撲滅キャンペーン」を実施していましたが、この度の新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ屋外におけるイベント等は中止し、薬物乱用防止指導員協議会への基金贈呈のみ執り行うことといたしました。贈呈式には遊佐ガバナー補佐にも出席していただくことになっております。

話は変わりますが、先週の木曜日に本県を含む東北南部でも「梅雨入り」の発表がございました。平年より1日早い入梅ということですが、今年は既に県内で35度を超える猛暑日もあり、むしろ梅雨を待ち望んでいた農家も多かったかもしれません。

「五月雨を 集めて早し 最上川」という芭蕉の俳句がありますが、五月雨は夏の季語で、旧暦の5月、現在の暦では6月ごろに降り続く長雨を指します。水害や土砂災害が発生しやすい時期でもあり、特に近年は地球温暖化に伴う気候変動で災害が激化するケースが多くなっております。

令和元年の土砂災害は全国で1996件発生しており、本県でも東日本大震災や新潟・福島豪雨のあった2011年の138件を大きく上回る163件もの土砂災害が発生したとのことですが、災害につながるような集中豪雨だけは勘弁してほしいものです。

また今日の日曜日、21日は二十四節気(にじゅうしせつき)の一つ「夏至」、そして「父の日」でございます。先日誕生祝いをしていただきましたが私は6月19日生まれなものですから、毎年、「父の日」と「誕

生日」を一緒に祝ってもらっておりまして、なんか1回損しているような気もいたします。

皆さんご存知のように夏至は一年で最も日が長く、冬至と比較すると昼間の時間差は4時間以上もあります。気温的にはすでに相当暑いのですが、この日を過ぎると本格的な夏が始まるということになっておりますので、熱中症などにはご注意くださいと思います。

さて、本日は後ほど一年を振り返ってのスピーチが控えておりますので、簡単ではございますが、以上で会長あいさつとさせていただきます。

◇幹事報告 佐藤 卓立 会員

○例会変更のお知らせ

・当クラブ、次週は午後6時30分より新旧役員歡送迎夜間例会を開催します。

○その他のお知らせ

・6月ロータリーレートは1ドル108円となりますのでお知らせ致します。

・本日午後2時より県北保健福祉事務所にて麻薬撲滅基金贈呈を行います。遊佐ガバナー補佐会長、幹事が出席されます。

◇出席・スマイリングBOX小委員会 黒澤 信之 委員長



○相澤 隆会長＝本日は会長として最後のスピーチをさせていただきます。今年度一年間ありがとうございました。皆様のご協力に感謝いたします。

○佐藤卓立会員＝本日幹事スピーチを短めにさせていただきます。つたないスピーチになりますがよろしく御願ひ致します。

○阿久津肇様＝久し振りにメイクアップします。福島西RCにエールを送るため参上しました。

○久米允彦会員＝阿久津先生、益々御壮健で、お目出とうございます。会長・幹事スピーチによせて。

○西形健吉会員＝ゴルフ、参加できず申し訳ありま

せんでした。クラブが振れない痛さで、整形外科受診したところ、何と五十肩。年をとっても発症する、との事で、皆様も気をつけて下さい。

○齋藤武二会員＝お久しぶりでございました。

———会長・幹事スピーチによせて———

- 大平謹一郎会員 ○佐藤慶行会員 ○佐藤宗弘会員
○高橋智弘会員 ○高梨哲男会員 ○野尻榮一会員
○渡辺敬藏会員 ○黒澤信之会員

本日のスマイリングBOX集計14件 36,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

- ◇本日のプログラム———会長・幹事スピーチ
○会長スピーチ 相澤 隆会長



一年を振り返ってのスピーチということですが、今回の例会が実質的に最後のお役目ということになります。会員の皆様に温かく見守っていただきまして何とか一年が過ぎました。柄にもなく「何事も経験だ。頼まれたものは文句を言わず、とにかくやってみよう」と安易に考え、会長を引き受けてしまいました。幸い佐藤卓立幹事をはじめ理事・役員の方々に支えていただき、無事務めることができまして感謝の気持ちで一杯であります。

今年度は元号が「平成」から「令和」に変わって初めての年度でありました。平成の時代には「東日本大震災」や「原発事故」等もありましたので、令和こそは「穏やかな希望に満ち溢れるような時代になってほしい」と願ってのスタートでありました。

しかし、フタを開けてみますと、昨年10月には「百年に一度の豪雨」と言われた東日本台風(台風19号)、年が明けると新型コロナウイルスによる感染症のパンデミックと、歴史に刻まれるような大きな災禍に見舞われた忘れられない年度となりました。

まず東日本台風では、県内でも多くの方々が被害を受けられました。本県では東日本大震災以降、復興・創生を目指して取り組んでまいりましたが、これからは「災害は何度でもやって来るんだ」ということも肝に銘じて、「もう一度気合を入れ直して活動を続けていかなければ」と誓いを新たにいたしました。

そして年が明け、新型コロナウイルスによる感染症の世界的な拡大によって大変な影響を受けることになりました。これは、おそらく生涯忘れることができないと思います。

年末に中国で発症した「新型コロナウイルス」の感染が日本でも急速に拡大して、2月20日に厚生

労働省から「国内大規模イベントの中止などについて」の声明が出されたのを皮切りに、「政府基本方針」の発表、「全国小・中・高校への臨時休校の呼び掛け」など、目まぐるしく状況が変化し始めました。

そして4月7日には東京や大阪など7都府県を対象に緊急事態宣言が発令され、同16日には対象が全国に拡大されました。その後、5月14日になってようやく本県など39県の緊急事態宣言が解除され、25日にはすべての都道府県で全面解除となりました。

ロータリーの活動も異例づくめの対応を迫られ、それは現在も続いております。ロータリー国際大会が中止となったのをはじめ、地区関係では復興フォーラム、RILAなどの重点事業が中止。PETS、地区研修・協議会はオンラインでの実施ということになりました。県北第一分区でもIMや親善ゴルフ大会などの各種行事が中止を余儀なくされました。また、当クラブにおきましても3月9日と4月、5月の例会をやむなく休会とさせていただきました。本当に残念でありました。

現在、国内での感染はだいぶ沈静化してきておりますが、世界的に見ればまだまだ予断を許さない状況が続いております。当面は新型コロナウイルスを意識した生活が必要となりますし、私たちもこれから感染防止対策に細心の注意を払いながら「新しい生活様式」を実践していかなければなりません。

また今回、ロータリアンの仲間をはじめ特に影響が大きかった観光、飲食・サービス業などの業種の方々に対しては、息の長い支援を続けて行かなければならないと思います。宿泊施設等を率先利用して支えるとか、飲食店が行うテイクアウト等を利用するとか、身近な地域内での支え合いから経済再生の輪を広げるような取り組みが求められます。また、第2波への備えも不可欠であります。

次に、こういった厳しい環境の中でも、クラブの事業では充実した活動もございました。最も印象に残った事業は「第23回福島西ロータリークラブ杯少年野球大会」の開催です。

今年度は、大会会場の県営あづま球場が東京オリンピックの野球・ソフトボール会場となり、改修工事が行われるということで半ばあきらめておりましたが、会員の皆さんの粘り強い要望が実を結び、これまでの8月から11月下旬に時期を移して開催できることとなりました。しかも、よく考えてみれば、中学生が新装なったオリンピック会場で本番前にプレーできるという、選手にとっては記憶に残る非常に有意義な大会であります。

しかし、期待が高まったところに水を差す、いや雨が降るといふ次なる難関が待っていました。当日は早朝から小雨の悪天候。「これは中止だな」と最悪のテンションで球場に着いたのですが、佐藤宗弘実行委員長が「大丈夫、やれる」と力強い判断を示され、何とか開催にこぎつけました。試合が始まってから

も小雨が降り続き、いつ中止となるか心配していましたが、新装なった球場の人工芝の威力も非常に大きく、去年までの土のグラウンドだったらおそらく試合はできなかつただろうと思いますが、何とか無事に決勝戦まで終えることができました。

また、閉会式後に初めて企画しました「スピードガン」を使ってのイベントは、父兄のボランティアの方々にも喜んでいただき非常に素晴らしいアイデアであったと思います。

このほか、当クラブがホストを務めた県北第一分区の新会員オリエンテーションも、プログラム作成から会場整備、懇親会の企画など会員の皆様の参加・協力をいただき成功裏に終了することができましたし、クラブ行事の納涼夜間例会、職場訪問例会、クリスマス家族会、移動夜間例会など本当に楽しい時間を過ごさせていただきました。

ただ、私が個人的に一番心残りなのは鈴木悦夫会員が今年度限りで退会されるということであります。高橋一朗会員が亡くなられた時も悲しい思いをしましたが、クラブの仲間が居なくなるのは本当に残念です。

よく諸先輩方から、ロータリーの野球大会で甲子園に行った話などをお聞きします。「皆で楽しめるスポーツや旅行、あるいは趣味の延長のような活動があるのがクラブにとっては望ましいのかな」などと考えたりもします。

いろいろと、とりとめのない話となってしまいましたが、なにはともあれ、この顔を見て察していただけだと思いますが、なんとか無事に役目を終えることができそうでホッとしているというのが正直な気持ちであります。

最後に、2020-21年度は黒澤信之会長、佐藤慶行幹事という超強力な布陣となります。素晴らしい年度となることを祈念いたしまして、一年間の御礼を込めたスピーチといたします。本当にありがとうございました。

○幹事スピーチ 佐藤卓立会員



相澤会長年度の幹事を仰せつかり、残すところ次週の新旧役員歓送迎夜間例会を残すのみとなりました。会長・理事・役員・会員の皆様のご協力や事務局の小澤さんにお手伝い、アドバイスを頂き何とか務める事が出来そうです。

今回2度目の幹事を務めると言うこともあり又約15年前に務めたときとクラブ・分区・地区行事等

があまり変化がなく前回の経験値で、進めてきましたので、緊張感も無くかなり準備不足の面も有り、会長や、会員の皆様に、ご心配をかけたかなと自分でも感じております。

振り返りますと年度前半のクラブ・分区・地区行事等に、ついては何とか順調に進行出来たかと思えますが、年度後半の、3～5月にかけて、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、国家緊急事態宣言に合わせ、約2か月間クラブ例会・行事・分区・地区行事等が、自粛により、中止・延期となった事が残念です。

例年ですと、仕事・プライベートでも、旅行や講習会・総会・懇親会等行事が、多く多忙な時期ですが、今年はステイホームで、人との接触が、制限され認知症が進んで、例会再開後も、思い出しながら進行している状況ですので、本日のスピーチについてもやっと、こなしている状況です。

本日と、来週の夜間例会で、リハビリをさせて頂き次年度の黒澤会長・佐藤慶行幹事年度については、平常運転が出来るように準備しているところです。

近年会員減少が進み様々な行事や、クラブ内の役職・役割分担についても、同じ方々に固定されてるよう感じますので。遠慮せずに会員の皆様のなかで会長・幹事をやられていない方は、1年間ですので、是非とも引き受けてみてはいかがでしょうか。

次年度は佐藤慶行幹事ということですので、私よりもロータリーの経験があり、知識も豊富ですので今年度以上のクラブ運営ができますようにエールを送りまして簡単ではございますが幹事スピーチとさせていただきます。

一年間本当にありがとうございました。

◇閉会点鐘 相澤 隆会長

※会報カメラ担当 大平 謹一郎会員

◇薬物乱用防止指導員協議会への基金贈呈

※日 時／6月15日(月)

県北保健福祉事務所にて福島地区薬物乱用防止協議会へ麻薬撲滅基金を贈呈しました。

※出席者／

福島地区薬物乱用防止指導員協議会会長

佐藤 喜市郎様

RI第2530地区県北第一分区

遊 佐 金 一がバナー様

福島西RC

相澤 隆会長

福島西RC

高 梨 哲 男 社会福祉課長

福島西RC

佐藤 卓立幹事

※基金贈呈額／五万円





◇福島市医師会様へフェイスシールド寄贈
※日 時／6月5日(金)

◇野尻榮一会員 旭日双光章 受章



～旭日双光章と勲章～

●他RC例会場・例会日

クラブ名	曜日	例会場名	クラブ名	曜日	例会場名
福島RC	木曜日	クーラクーリアンテサンパレス	飯坂RC	木曜日	吉川屋
福島南RC	水曜日	クーラクーリアンテサンパレス	福島北RC	火曜日	クーラクーリアンテサンパレス
福島中央RC	水曜日	ザ・セレクトン福島	福島東RC	金曜日	クーラクーリアンテサンパレス
福島21RC	木曜日 18:30～	クーラクーリアンテサンパレス	福島しんたつRC	月曜日 18:30～	福島県青少年会館